

Information4

暖かくなり春らしくなりましたね。
今回はフィラリアについてのお話です。



犬のフィラリア症

蚊が媒介する寄生虫感染症です。
フィラリアに感染している犬の血を蚊が吸います。
他の犬の血を吸うときにフィラリアの仔虫を出して、犬の体内に侵入します。
犬の体内で成長後、肺動脈や心臓に寄生して悪さをします。
最悪の場合**死に至る**こともある怖い病気です。

症 状

フィラリアが成虫になり、刺激し始めないと症状が出ません。

{主な症状}

- ◇ 咳をする
- ◇ 元気がない
- ◇ 食欲低下
- ◇ 呼吸が苦しそう
- ◇ お腹が膨らんでいる



予防の為にも検査が必要です。春になったら検査をしましょう!!

フィラリアに感染している犬に投薬すると

血中に存在する大量のマイクロフィラリアに影響して、
場合によってはショック症状や死に至ることもあるので
毎年検査をやらないといけません。

(検査をやらずに**通年予防**という方法もあります。)

なぜ
毎年検査するの？

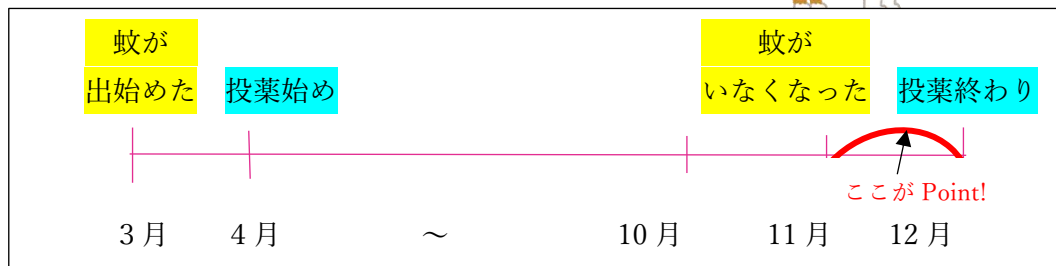


フィラリアの予防期間

蚊が出始めてから1ヶ月後、蚊がいなくなってから1ヶ月後まで

- * 飲ませた日から1ヶ月ずっと効果がある
 - * 蚊がよってこないようにするもの
- 1ヶ月前に蚊によって運ばれたフィラリアの仔虫を
投薬した日に駆除をするというものです。

誤解です!!



上の図は岩槻周辺の状態です。

3月から蚊が出始めたので、4月から投薬を開始。
11月に蚊がいなくなったので、12月まで投薬をします。

▶最後の12月まで投薬しないとフィラリアが寄生してしまう可能性があります!

フィラリアの薬

薬には様々な種類があります。やりやすく続きやすいものを選んで下さいね!

錠剤



効果：フィラリア

液体



効果：フィラリア・ノミ

お肉



効果：フィラリア・ノミ・ダニ

蚊がいなくなってから1ヶ月後にも投薬をするのがポイントです。

岩槻周辺フィラリア症にかかっている子が数件います。

フィラリア症になるのは人間の責任!!

私たち人間がしっかり予防してあげて、動物達を守りましょう!!